

## 2024 年度前期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	工学部・第二類電気システム情報系・二年
(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか	
<p>今回の START プログラムに参加して、私自身日本語が全く通じない人と約 9 日間過ごすのは初めての経験であったため、少しの緊張はありましたが、本当にたくさんのことを学ばせていただきました。韓国語の授業では基本的な韓国語のあいさつなど、午後からの英語での授業では、韓国やアジアの経済的な背景を含めた歴史を学んだ。またフィールドワークでは、英語を使って韓国語を現地の学生に教えてもらったり、韓国料理や観光地に行って韓国の文化を体験しました。何より、日本語と英語にしか今まで触れてこなかった自分自身、ほかの言語に興味を持つことができ、勉強のモチベーションが大きく上がったことを実感している。さらにプログラム後、独学ではあるが韓国語の勉強を始めた。また、将来留学したいという思いが今までよりも何倍も大きくなったため、言語の勉強をさらにしていきたいと感じた。今回の経験は、もっと積極的に海外の方とコミュニケーションをとってこれからの英語と韓国語またはほかの言語の学習に活かしたいと思う。</p>	
(2) プログラム内容についての全体的な感想	
<p>現地では日本からの引率していただいた先生方はもちろん現地のサポートしていただいたスタッフの方に非常にお世話になり、常に学びの絶えないプログラムだった。二日目からいきなり授業ではなくフィールドワークや体験型の学習から入ったことで韓国や中国やタイから来た学生とも打ち解けあうことができたため、一瞬で緊張はなくなり楽しんで学ぼうとすること以外考えなくてよくなったことはとてもいいことだと思った。またルームメイトは中国の子だったが、寮に帰ってきてから寝るまでお互いの国の文化について話し合ったり、お互いの国のイメージと実際のギャップにおどろいたりするなど、プログラム外での会話からも多くのことを感じ学んだ。今までは言語の学習と聞くと多少なりとも、気が乗りきらない部分があったが、やはり現地に行くと楽しみながら学ぶことができるということ、またネイティブの発音や使い方を常に聞いているので非常に学ぶスピードが速いと感じた。このプログラムに参加して、人生の中で一番とっていいほど私にとって、濃厚でとても充実した学びや思い出に残る 9 日間だったため、参加させていただいてとても感謝している。</p>	

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

韓国語を何フレーズかしかわからない状態で参加し、私自身英語を話すことはあまり得意ではなく、話すときにはきれいな文法の英語などは話すことはできないのですが、どんどん自信をもって話しかけることが大切だと感じました。そうすることで意外とコミュニケーションもとれるので外国語に得意な意識がなくてもどんどん挑戦することが大切だと思う。また私としては、学ぼうという堅苦しい感じではなく、現地の学生と少しでも話せるようになりたいという気持ちが大きく、その気持ちをもっていれば、自然と楽しんで学ぶことができると思う。

2024 年度前期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	理学部 数学科 2年
------------	------------

(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

僕はこのプログラムに参加して、まず全体ではなく個々を見る必要性を感じました。何かと政治的・歴史的に対立することの多い日・中・韓の三カ国ですが、このプログラムで出会った各国の学生は皆優しく思いやりがあってフレンドリーで、マナーを守り、なんの偏見もなく交流し仲良くなることのできる素敵な人たちばかりでした。また、韓国国内ではほとんど現金を使わずカードで決済できて簡単で、日本語や中国語に対応したタッチパネル式の機械で注文することが多いので、韓国語が話せない観光客などに対して配慮されており、ダイバーシティやインクルージョンが進んでいると思いました。そして、以前から韓国に興味があって韓国語を勉強していたのですがいざ現地に行くと、聞き取れるけど言いたいことをうまく言い表せなかったりして、自分の語学力の不十分さを改めて感じ、今後はもっと上手に会話して交流できるようにさらに頑張る勉強しようと思えました。現地で交流した学生たちはほとんどが英語を流暢に話し、社会問題に対しても問題意識が強く、向上心があって勉強熱心だったので、僕も専攻や韓国語だけでなく総合的に物事に興味を持ってこれからの大学生活を学んで過ごしていきたいと思えました。

(2) プログラム内容についての全体的な感想

僕自身二回目の渡韓だったのですが、旅行ではなく留学という形であったため、旅行で行くには味わえない様々なプログラムが準備されておりとても満足度は高く、密度の高いかけがえのない一週間になりました。特に韓国版の自然の家みたいな田舎体験ができる施設に行って川やウォータースライダーで遊んだり、KPOP ダンスレッスンを受けたたり、ミュージカルを見ることなどの韓国の文化体験をいろんな国のひとと一緒に体験できることは、このプログラムでしかできない貴重なものだと思います。授業においても、韓国語クラスでは初歩的な内容だけどカフェでの注文の仕方などすぐに実践できる実用的な韓国語を学ぶことができ、もう一つの授業では韓国の経済的な発展の歴史を学んだり、東アジアのこれからについて考える機会があり、とても興味深いと思えました。そして何より、参加した広島大学の学生だけでなく、他大学の学生の友達を作り、かけがえのない思い出を作ることができたことが、STRAT プログラムで得た最大の収穫だと思います。

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

基本的に英語や韓国語はできる分だけ勉強してから渡航することが望ましいと思います。韓国語については、現地で韓国語の初級クラスの授業がありますが、すべて韓国語で説明をされるため全くわからない状態で行くとやや苦戦すると思われます。英語については、韓国語でわからない表現を英語で説明して伝えたりするときや、中国など韓国以外の国から参加している学生と交流するときのためにも、スムーズに言いたいことが英語で言えるとかかなり楽になると思います。ですが、一番大事なのは語学力よりも自分が伝えたいことをジェスチャーや翻訳アプリなどを用いて、コミュニケーションをとりたいという意思を示すことです。話せなくてもいいので、自分から積極的に交流しようとするをお勧めします。また食事についてですが、基本的に韓国の食堂では料理がかなり多めに出てきます。一応韓国でも文化的に全部食べ切るのが望ましく、日本人の感覚でもったいないと思って頑張って食べようとしてしまいがちですが、無理する必要はなく、韓国人の方も結構残したりするので自分が食べられる分だけ食べて、おなかを壊したりしないように気を付けてください。